

住宅の真下にトンネルいらない！

住民の命・暮らしを壊す外環道工事は直ちに中止を！
調布陥没地域は無法地帯（事業者の隠蔽体質, 住民監視・排除, 人権侵害）

地盤補修工事は2年で終わるか????

◆住宅街は工事現場のまま！環境被害続く

2023年8月に開始された地盤補修工事は、約2年の工期の半分が経過したが、220本のセメント柱のうち約40本（2割）しか造成できていない。直上約30戸と周辺約20戸の家屋解体作業が並行して行われ、周辺住宅に騒音・振動・低周波音等の環境被害をすでに1年以上与え続けている。



◆市道に気泡発生、住民に伝えず！「酸欠」危険

7月11日に工事現場の隣の市道に気泡が発生したとき、事業者は市道管理者である調布市に伝えたが、住民には伝えず、近隣の掲示板に貼り紙しただけ。住民が気づいたのは17日。

「酸欠」の可能性のある空気が、入間川だけでなく、地表面に出てきたのに住民に注意喚起も説明もしない。住民の安全安心は住民自身が判断できるようにすべき。



◆住民監視を続行する事業者

住民の監視・盗撮ではない、工事現場の安全のためと正当化するが、つつじヶ丘駅のエスカレータでの会話まで盗み聞きしてチャットで共有していることが、一部報道の続報で明らかになった。しかも、NEXCO東日本は「たった60人のグループチャットでの共有は、プライバシー侵害（個人情報や私生活について知られたくないことをみだりに他者に知られたり公開されたりすること）にあたらぬ」と聞き直り、現場周辺の公道の監視をやめない。住民や通行人の安全が保障されず、ゆゆしき問題だ。

現場管理用 カメラ作動中



今も公道を
24時間
監視中！

地表に振動、 続く危険なトンネル掘削

本線トンネル大泉南工事(約7km)

▼本線(南行):約2.9km

▼本線(北行):約3.3km

中央JCT南側ランプ

◆Bランプ14m(段取り替え停止中)

東名JCT北側ランプ

●Hランプ591m

(テールシール損傷修理済)

●Aランプ38m

(掘進距離は8/12現在)

※本線トンネル東名北工事(2本)は陥没事故で工事差止処分中



◆オープンハウス意見交換会場、元住民を排除

陥没地域のオープンハウス(5/31, 6/1)は、陥没地域の住民限定で、同様の事故が起きる可能性のある調布市外の沿線住民は入れないどころか、陥没事故で終の棲家を泣く泣く明け渡したがこの事業の行き先を見届けたいという元住民の意見交換の場への参加を拒絶した。参加できると言われたのにと、暑い屋外で1時間以上終わるのを待たれていた。血も涙もない残酷な仕打ち！



傍聴に来てください (先着順)

第23回口頭弁論 9月4日(水)14:00~

東京地裁103号法廷 地下鉄「霞ヶ関」駅A1出口

15時(予定) 報告集会 衆議院第2議員会館第1会議室